



開催日：2025年（令和7年）3月6日（木曜日）～7日（金曜日）※オンラインと対面のハイブリッド形式開催

土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法

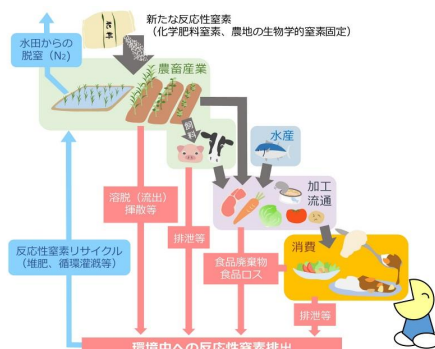
食料生産～消費システム（フードシステム）全体を対象とした物質循環と環境負荷の把握、改善策の提示、具体的な行動への移行は、産学官全てに関わる重大な社会的課題となっており、国際連合のSDGs（No.12：つくる責任つかう責任、など）や農林水産省「みどりの食料システム戦略」の目標達成にも深く関わっています。

本ワークショップでは、特に窒素に焦点を当て、産学官から広く参加者を募り、農地土壌を介した食に関わる窒素循環とその改善策について、解析・予測技術の習得だけでなく、総合討論を行い、今後の研究交流につなげることを目指しております。

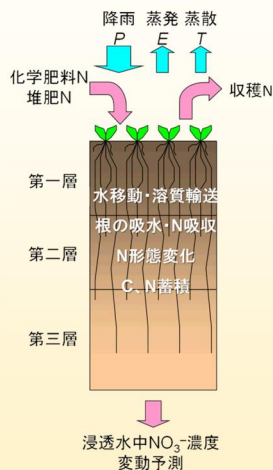


農林水産省「みどりの食料システム戦略」 [トップページ](#)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>



▲食と農を通じた窒素カスケード（窒素循環）の模式図



講義と実習の概要

【3月6日（木）】

10:00～10:05【挨拶】「本ワークショップについて」 江口 定夫（農研機構 農業環境研究部門）
10:05～11:00【実習】「土壌を介した食の窒素循環、窒素フットプリント概説」 江口 定夫
11:00～12:00【実習】「土壌中の窒素動態予測モデルLEACHM概説」 朝田 景（農研機構 農業環境研究部門）
13:00～16:00【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（1）」 朝田 景、江口 定夫
16:00～16:30【実習】「質疑応答」 江口 定夫、朝田 景

【3月7日（金）】

10:00～11:00	【実習】「食の窒素フロー、耕畜食連携システム、堆肥による減肥等概説」	江口 定夫
11:00～12:00	【実習】「食の窒素フットプリント計算ソフトによる評価手法」	江口 定夫
13:00～14:00	【実習】「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（２）」	朝田 景、江口 定夫
14:00～15:00	【実習】「土壌からの窒素溶脱等モニタリング手法」	江口 定夫、朝田 景
15:00～16:00	【実習】「総合討論、質疑応答」	江口 定夫、朝田 景



受講方法	【オンライン】農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターからライブ配信（Teams使用） 【会場開催】農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター電農館 3Fセミナー室（茨城県つくば市観音台2-1-9）
主 催	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
対 象	産学官の研究者・技術者・行政施策担当者等で、土壌を介した食の窒素循環の解析技術に関心のある方
募集人数	15名程度（参加費は無料です。全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。）
コーディネーター	農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 主席研究員 江口 定夫 ・ 主任研究員 朝田 景



QRコード：農研機構
農業環境研究部門



QRコード：農研機構
農業環境研究部門

[illegible]

お申込み方法について

筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から koryu7129@cc.affrc.qo.jp 迄送信頂きますようお願いいたします。

申込方法：左記により令和7年2月3日（月曜日）までにお申し込みください。（必着）

受講者決定：令和7年2月10日頃、メールにてお知らせいたします。

筑波産学連携支援センター ホーム



★詳しくはHPをご覧ください。

《お問い合わせ先》

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター

コーディネーション推進課 鈴木・木暮

TEL:029-838-7136 FAX : 029-838-7204 E-mail : korvu7129@cc.affrc.go.jp

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターホームページ <https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>